

考案新

社開新啓當所行發
九五町南町年縣島福
次隆藤伊人行發
一港古町濱名小縣島福

刊夕日四十二月二十
一ヶ月 三十錢
一 部 二 錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

鰯揚操船主に警告

本年の鰯揚操船は高値と相俟て豊漁に水揚高は十萬圓突破と云ふ鰯の洪水ならで黄金の時代となつた。漁業萬能の時代となつた。鰯揚操船に加工に著しく工場的发展を來し爲めに濱としては好況以上の好景氣を來し、頼みれば大正八、九年の黄金洪水時代には殆ど心は沖天に舞へ足谷字宿豊次長門馬昇(志)末恐ろしき極悪なる人間に黄金何ものぞの意氣は各人の口を衝へて連發された。然るに結果より見れば不況の現金券拾圓並に金貳百圓時代のコッとして蓄財せざる貴重金の品は皮肉にも好況の爲め却て大損害を蒙り行先は福島縣石城郡野村下神谷小川忠良方か内郷の紐をゆるめた結果である。斯く過剰を追憶する時、現み今廿四日半署へ捜索願に現在の操船者にも萬兩箱十個を重ねてもツカ(一)と豊漁に酔ひ手の舞へ足踏む處を知らざる状態では將來寒心すべきを自覚しなければならぬ。昔より勝々々木警察署に再三檢舉され、兜の緒を締めよ、油斷大敵たる事ある目下不良青年の問題中であつた商車に食などの言葉がある如く、大注意人物を通常大言壯語はれて切斷され上頸部に内りて返濟するときは考へ外國に密航する等同僚仲間出皿、眼の上頸部に打撲傷感し百年の大計上に備へ自

思想かぶれの不良 集金を拐帶逃走

有價證券共貳百數十圓 東京の主人より搜索願

本籍石城郡野村大字下神向意志を認め悔悟せざれば二十三日發覺更らに鐵ビンを持つて來るから良い値をつけて來るから盗んだ品を賣つて御用。

誤つて巻上機のギヤアに巻込まれ 機關助手慘死

小濱の精福丸沖合に出漁作業中

去る二十日石城郡植田町野村野野醫院にかつぎ込み小濱の精福丸が沖合に出漁作業中、機關助手の一人が巻上機のギヤアに巻込まれ、死亡した。死因は窒息によるものと見られる。遺族は、船主に対して賠償を請求している。

盗んだ品を賣つて御用

相馬郡飯曾村生れ内郷村字御殿日屋荒波忠喜(志)は二十日平町字木町建具屋喜多方町の爲め粉骨微力な三丁目元中野呉服店內で作業中、一人の監督者の無いのを奇禍として床下の貯蔵品を盗んで御用した。

小名濱町の花骨牌現行犯

一名の逮捕で逃走 小名濱町字米野木己吉の吉里全最近に泰を効し赤井隆盛に趣く

赤井村 隆盛に趣く

本年夏季より基礎準備に着手し奔走費せる甲斐あり、赤井隆盛は最近泰を効し赤井隆盛に趣く

平町會

本年最終の町會 二十六日午後一時平町會名集會議案左之通り

街の噂

今年も昨日一週間となり年の瀬の氣分も濃厚になつて、各官署會社は忘年會で一年の變を晴さんと連

落盤で慘死

内郷村大字宮宇御殿居住 落城炭礦採炭夫宮野慶(志)は去る二十二日午後一時頃同坑内で支柱ワック入作業中落盤で即死した

江名町の喜久屋商店

計量器販賣認可 江名町には從來計量販賣店がなく不自由を感じつゝ、あつたが今回販賣店として喜久屋商店が認可された

大波小波

借金取りも忙しくなつた 借金取りも忙しくなつたので古証文をブッカーに

濱だより

小名濱魚市場調査 魚名 魚獲高 單價

天氣豫報

今晚 北西風晴れ 明日 同 氣壓 七百九十九

